

9月のくらし

動物愛護週間
結核予防週間

広報かわにし

発行者 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行所 川西町 印刷所 星名四郎社
 発行人 川西村 編集人 星名四郎
 発行者 (町長) 川西村 (町長)

一人口の動き一

9月1日現在

男	6,338人
女	6,675人
計	13,013人
世帯数	2,640世帯

心がけましょう

1. 「ありがとう」「すみません」「これはどうも」「おかげさまで」などのことばを日常忘れずに使いましょう。
2. 応待はいつも笑顔でいたしましょう
3. てれずに勇気をもって親切を行なひましょう
4. ひとから親切をうけたときは ずなおに受け入れましょう
5. 一日の終りは やれはやれた 小さな親切について反省をしましょう。

新生活運動写真シリーズ



交通安全
十日町警察署

社会教育主事との対話

- 九月の行事
- 二日 千手神社祭礼県下大相撲
 - 三日 山ノ根長寿会
 - 三日 産米収穫期対策協議会
 - 四日 農業委員会
 - 五日 千手地区敬老会
 - 六日 仙田中第一分校開校式
 - 八日 千手小運動会
 - 九日 評議会

- 十一日 国保事務魚沼地区協議会
- 二十日 教育委員会
- 二十二日 郡議長会議(津南町)
- 十五日 としよりの日
- 十五日 保育園運動会
- 二十一日 彼岸
- 二十三日 橋地区敬老会
- 二十四日 秋分の日
- 三十日 郡市婦人教育研究部会

町づくり

町づくり
 町が、それも単に外観だけでなく「変わって来た」という話題に接してもやはり、その内容の方に気持ちがとんでしまいませんか、感慨にひたるといっても、もっと切実な、過去を度外視してはならない。そして現実を直視するんだという、もう精神的な職業病に近い気持ちが出てきますよ。
 一前のことが思い出せないでいるらいたる気持ちは、町の変化する時点時点において、その状況をたどればカメラのような、非情な眼で写しとっておいたらと思ってしまうかもしれないが。
 (金子)「むかし十年、いま一年いや、もっと変化がほしいの事を与えたらどうでしょうか。」

町づくり
 一町の様相が変わってきたという感慨が強いのですが、おもに道路とか建築物のりっぱになったこととすね、よく庁舎の屋上から軒並みに下を見おろして考えることがあります。学校にかよったころの道路とか家並みがどうしても思い出せないで勝手にいららしてそんな感じはありませんか。
 (金子)町が、それも単に外観だけでなく「変わって来た」という話題に接してもやはり、その内容の方に気持ちがとんでしまいませんか、感慨にひたるといっても、もっと切実な、過去を度外視してはならない。そして現実を直視するんだという、もう精神的な職業病に近い気持ちが出てきますよ。
 一前のことが思い出せないでいるらいたる気持ちは、町の変化する時点時点において、その状況をたどればカメラのような、非情な眼で写しとっておいたらと思ってしまうかもしれないが。
 (金子)「むかし十年、いま一年いや、もっと変化がほしいの事を与えたらどうでしょうか。」

町づくり
 町が、それも単に外観だけでなく「変わって来た」という話題に接してもやはり、その内容の方に気持ちがとんでしまいませんか、感慨にひたるといっても、もっと切実な、過去を度外視してはならない。そして現実を直視するんだという、もう精神的な職業病に近い気持ちが出てきますよ。
 一前のことが思い出せないでいるらいたる気持ちは、町の変化する時点時点において、その状況をたどればカメラのような、非情な眼で写しとっておいたらと思ってしまうかもしれないが。
 (金子)「むかし十年、いま一年いや、もっと変化がほしいの事を与えたらどうでしょうか。」

町議会報告

議長南雲・副議長田中氏

議会役員を全面改選

八月三十日三十一日の二日間わたって開かれた第七回定例会において、議長以下議会役員の新選が行なわれ、新議長に南雲章氏副議長に田中三郎氏が当選した。

常任委員会については条例を改正してこれまでの三委員会を四委員会とし、委員長・副委員長については指名推薦の形で選出した。



南雲議長

◎南雲議長 合併前仙田村教育委員長に就任、合併後の町議選挙に最高票で当選、以来連続二期目。その間副議長に二回就任、今回仙田地区ではじめて議長に当選した。地区ではPTA会長、商工会長、遊族会長、自治振興会長等を歴任。

戦時中は軍属として満洲方面に従軍、終戦後引き揚げの軍中でミツエ夫人が長男を分娩する等苦勞を重ねた。現在仙田で雑貨商を営む。四十八才の働きざかり。

◎田中副議長 議員連続五期当選、勤続十六年余で和久井前議長に次ぐ古つもの。土木委員長、総文委員長、社会教育委員、伝染病舎組合議員等を歴任、ほかに運転者協会川西支部長として精力的に活躍している。本年三月国鉄を退職して、目下川西建材に勤務。

話し合いにより人選

正副議長選出の経過

合併以来、議会役員は一年とするという申し合わせにより毎年八月末の議会において改選が行なわれていた。しかも、この前は前任者が実質二年の任期満了に当たっていたので、全面的に改選が行なわれる時期にきていた。

三十日、開会第一日目の議事は和久井議長の司会で進められた。まず常任委員会の構成を改める委員会条例の一部改正、ついで税条例及び農業共済条例の一部改正といずれも原案どおり可決し、つづいて教育委員の任命に同意の議決をしたのち、議院審査となつていた「果樹開畑に関する請願」審査



田中副議長

委員、診療所運営委員、損害評価委員会等の選任にそれぞれ同意する旨の議決が行なわれた。これら委員の大部分は新しい議会構成と不可分の関係があるので、議会役員の新選を待つて提案されたものである。

人事問題以外の案件としては、前記委員会条例の改正を含めて条例改正三件のほか、議院審査中の請願一件が審議決定されただけで追加予算は上程されなかった。

の結果について平野産建委員長より報告があり、これを採択して予定された日程は一応終了した。

次いで、南雲副議長から提出された副議長辞職願を上程、これを許可し、つづいて和久井議長から議長辞職願が提出されたので、議長馬場議員が臨時議長となりこれを上程して異議なく許可し、以後休憩にはいって後任議長選挙の話し合いに移った。

話し合いは四地区に分かれて行なわれ、それぞれの間で折衝がつづけられた結果、午後三時過ぎ、ようやく本会議を再開、ただちに議長選挙にはいった。

開票の結果は次のとおり。

四票 田中三郎
二十一票 南雲章

この結果について当選者に対する当選告知、当選者のあいさつがあったのち、新議長が議長席についた。

副議長は千手から

副議長選挙についても、まず事前の話し合いが行なわれた。大勢としては、議長が仙田地区からとすれば副議長は千手から、といった空気が支配的となり、結局最終的には千手地区に一任するという形となった。その結果、千手地区からは田中三郎氏を推薦するという報告がなされ満場拍子をもってこれを承認、事実上の副議長選挙は本会議を待たずに落着いた。

したがって再開後の議事は緊張から解放されてたんたんと進められ、田中氏が二十四票で、予定どおり新副議長が決定した。

常任委員会を四に増加

常任委員会は、これまで総務財政・産業建設・文教厚生三委員会であったが、今回これを議員提案により、総務文教・産業経済・社会土木・財政厚生四委員会に



滋野産経委員長



馬場総文委員長



蔵品財厚委員長



江口土木委員長

改正する条例を提出、三十日の開会へき頭これを議決し、即日公布した。この改正条例により翌三十一日常任委員の指名を行ない、それぞれ委員の中から委員長及び副委員長を選任した。

前回は三委員会であったため、四地区に対する委員長・副委員長の割り振りが難航し、容易にその調整がつかなかったため、今回は実情に合わせて四委員会としたものであるが、そのためもあって、話し合いは比較的スムーズに進み、なごやかな空気で、指名推薦により円満に選任を終わった。

新常任委員会の構成は次のとおり。◎委員長、◎副委員長。

各種委員等

以上のほか、この議会で互選あるいは選任に同意した委員等は次のとおりである。

- △総務文教委員会 定数七 欠一
 - ◎馬場下禰、◎市川富二、和久井精一、押木二吉、田中三郎、登坂敬恒(欠一は南雲議長の委員辞退によるもの)
- △産業経済委員会 定数七
 - ◎滋野一朗、◎小林与作、教藤孝(千手)黒島豊二、水品正一郎、田村才一郎、丸山欽一郎、高橋吉太郎、中島久助、関口重作
- (橋)教藤孝平、和田光興、山家音平、登坂敬恒、田中凌治、藤原英策、片桐莊太
- △農業委員(学識経験者) 中村杜吉、南雲章、高津正
- △学校組合議員(桐谷校) 南雲章、齋木定太郎
- △十日町市・川西町伝染病舎組合議員 南雲章、和久井精一
- △教育委員 小幡義布(留任)
- △固定資産評価審査委員 丸山豊太郎(留任)
- △損害評価委員会 須藤亮助、平野圭三、上村吉友、小川大作、小川政一、山岸真治、倉繁勇、村越家利、中条慎吾、江口信保、青木利夫、小川昭一、小山美知雄、上村健一、須藤秀雄、星名栄吉
- △診療所運営委員

新議長就任のあいさつ

全町の立場で努力したい

川西町議会議長 南 雲 章

今回議会役員の改選にあたり、はからずも川西町議会の議長にご指命をいただきました。川西町議会の立場と使命を考えると、今さらその責任の重大さを痛感している次第であります。議員としての経験も目浅く、微力である私よりもよりその器ではありませぬけれども、町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げて、私なりに努力したいと考えております。

顧みるに合併後僅かの期間ではありますが、川西町の行政面から

桑原 水品 さんそろうつて表彰

社会福祉大会で

さる八月三十日町小学校において開催された第十二回郡市社会福祉連合大会の席上、社会福祉に特に貢献のあつた個人及び団体、母子、身障者で自立更生に献身的努力し他の模範とするにたるものとして、中里村樋口チサさん他四名が表彰され、十日町市山内与喜

みんなで親切を

育てましょう

第十九回国体
新潟県実行委員会

活用して常に研究する必要があると考えております。

たまたま川西町の議会は円満すぎるという声を耳にいたしますが、しかしただにきやかな議論争論のみが議員の任命とのみは考えられませんが、国会や県会と違つて町村議会は行き方が違つたのであつて、結論として町の利益になり、住民の福祉に役立つとして議会の意志が決定された場合は、それなりに正しいものと信じています。その意味で今後の議会のあり方には何分のご批判をいただきたいと思ひます。

合併後六ヶ年の議会活動を反省いたしますと、合併初期の行政効果は町の皆様方のご理解とご協力第一段階を越えたいと思ひます。

めい置かれてお困りのものは、無料で、しかも、他にもれることは絶対にあいりませんから、安心して

農業委員無投票で決定

県農業会議員に小林猪作氏

町農業委員会委員一般選挙は八月十二日告示され、十六日立候補を締切つた。立候補者は定員十四名と同数で結局無競争で全員が当選が確定した。このため二十日に予定されていた選挙は行われなかつた。新しい農業委員の顔ぶれは選任及び議会推せん委員も含めて次のとおりである。

- | | | |
|---------|-------|------|
| 選挙による委員 | 数藤 孝平 | 沖立 現 |
| 小川 大作 | 赤谷 元 | |

- | | | |
|---------|--------|-------|
| 選任による委員 | 高橋 實五郎 | 室島 現 |
| | 上村 常助 | 上野 元 |
| | 上村 栄一 | 下平新田新 |
| | 太田 龜次 | 水口沢 新 |
| | 小林 伝司 | 中屋敷 現 |
| | 小島 謙作 | 新町新田新 |
| | 羽鳥 仁平 | 友重 新 |
| | 小林 猪作 | 中仙田 現 |
| | 田中 久之 | 下原 新 |
| | 野沢 秀保 | 野口 現 |
| | 高橋 克義 | 大白倉 新 |

と思ひます。今後第二段階として種々問題が山積している中で、特に地域開発と広域行政の効果をいかに方向づけるか、また産業振興のための基盤整備の問題、教育行政の計画的整備充実の問題、町の医療行政の安定化等々、今後ますます多事多難の町政と申し上げて差しつかえないと思ひます。要は理事者と議会との立場を正しく認識して、互いにその権限と責任を要望し合い、もつと行政効果を高めるよう努力したいと思つておひます。

何とぞ町民の皆様の特段のご理解とご協力を切にお願ひ申し上げて就任のごあいさつといたします。

お気軽に委員の自宅へ相談にお出かけください。私的制裁・差別待遇・村八分・強制圧迫・生活権の侵犯・その他お困りの問題。

町の人事



小川土木課長

- | | | |
|------------|-------|-----|
| 千手農協理事高橋 | 茂雄 | 坪山 |
| 上野 | 上村 吉友 | 元町 |
| 橋 | 羽鳥 朗市 | 木落 |
| 仙田 | 佐藤常一郎 | 霧谷 |
| 議会推せんによる委員 | | |
| 町長 | 中村 壮吉 | |
| 議長 | 南雲 章 | 中仙田 |
| | 高津 正樹 | 塩辛 |
- なお、初会議を九月四日役場会議室で開き、席上会長に中村町長、会長代理に野沢秀保氏農業会議員に小林猪作氏をそれぞれ互選した。

ふるさと

婦人学級生の記録第二集「おかあさん」を読ませて頂きました。婦人学級に学ぶ川西のおかあさんたちが、朝早くから夜は遅くまで働くふり、針をもち、包丁を握つて休む間なく働く白魚ならぬ一家をささえる指に、持ち馴れぬペンをささつて一生懸命綴つた尊い生活の記録に深く感動致しました。

あの人もこの人も、何と真剣にひたむきに、そしてつづましく美しく生きていられたことか、楽しい話に笑いをさされ、時に涙くみながらくり返し読みました。こどものよき母でありたいとの努力とすなおな反省、子どもの成長をうれしそうに見ている夫の白髪まじりの横顔をながめる時が私の一番しあわせな時ですとのおのりけちよつびりとどこかにこんな気持ちが残つていたのだろうかと思ふ人、これでのいのだろうかと思ふ人、つぎつぎとめて考える人たちが、発表するということは大変なことだと思ひます。特に書くということとは努力がいります。書きながら考え、考えながら書く、そうやってピツタリした言葉を選ぶ習慣が考へる生活の土台となつていく、という生活記録の趣旨を思い合はせませう、このおおかあさんたちによつてよりよい町が社会が作られていくことを信じて疑いません。

また川西併置の常連に幼い子たちと病気の姑をかかえて働く若いお嫁さんも居ます。一途な生活の中に何と心の豊かさでしょう美しいかわにののおかあさんたちでしょう。

(A)

町の土木專業現況

長福寺沢溜池湛水中

1. 農業土木災害復旧事業

昭和三十五年災害の各所復旧工事も最終年にあたり、入札を完了して工事は進捗中であるが、さらに、本年急災を受けた長福寺沢溜池災害も、八月七日手直しも終り、検査終了、もつか湛水中である

これら事業のおもなる入札状況は別表①のとおりとなっている。

2. 公共土木事業

(1) 国費工事

栄橋 本年度は総額五千万円でピヤ(橋脚)三カ所(一カ所七百六十、六メートルで百四十六、四メートルの間の、構造物と取付道路延長三百二十九メートル、巾員六、五メートルが予定され、植木組により着工が進められている。
なお、総工費中には明年完成を見込める材料購入費が含まれている
上野舗装工事 本年度分も工費三百万円近く着工する。

同地区の県単側溝工事は百二十三メートル、工費 百万円

中仙田地区 長岡横沢松代線は本年度分三百万円、これは用地買収費で終り、工事は明年より

となる。
塩辛橋 災害復旧工事は延長八二六メートル、巾員三メートルで入札未定。

(2) 信濃川堤防(国費構築)

3. 地元施行道路改良事業
工事概況を別表②に示した。

沖立地区 五十二メートル
四百四十二万円
請負人 丸山工務所
木落地区 五十一メートル
入札未定

別表①

1. 県営災害復旧事業

工 区	工 種	数 量	請 負 額	請 負 業 者
南 沢 上 流	水 路	709m	13,900千円	福 島 建 設
	水 路	97m	2,380	羽 鳥 建 設
	橋 橋	9.90m	766	"
北 沢 上 流	水 路	773.80m	17,800	小 杉 土 建 K K

2. 国費補助町営施行事業

工 区	工 種	数 量	請 負 額	請 負 業 者
野口取安川 195-13号	水 路	386m	6,405千円	丸 山 工 務 所
" " 21号	水 路	228m	2,563	羽 鳥 建 設
" " 25号	水 路	304m	5,194	吉 楽 土 建
中仙田南川 7号	水 路	20m	190	"
千手長福寺沢 4号	溜 池	1カ所	607	"

別表②

3. 川西町地元施行道路改良事業

路 線	延 長	巾 員	事 業 費
沖立島線 コンクリート舗装完了	320m	1.5m	450,000円
伊友線 延長完了		4.0m	300,000円
千手神社小路側溝工事	314m	3.2m	346,000円
木落下原線延長工事完了	260m	5.0m	250,000円
下平新田木落線	240m	4.0m	101,800円
千手田中町	72.8m	3.5m	253,000円
小脇高倉線	500m		未 定
霧谷一中屋敷線	260m	4.0m	"
桐山室島線	230m	3.5m	"
星名新田線	約100m	4.0m	"
天王橋橋脚 コンクリート巻	3.5m	0.8m	"

水稻の被害申告は済みましたか

「十五夜の餅を食ってから稲ほめる」と昔からいわれてきたが、はたしてここの稲はほめられるであろうか。「かつてないできばえだ」、「まあ、まあだ」、「来年はあの点を改善して失敗を二度と繰り返すまい」と各自が春からの稲作りを反省しておられると思うが、全般的にいつて異状気象と相次いで多発した病害虫を技術と努力によって克服し、ほぼ平年作に近い作柄まで漕ぎつけたとみたい。しかしまだ葉観は許さない。台風の影響時期にもなっているし

また、昭和三十三年は十五夜過ぎの長雨で倒伏と穂発芽を生じ、大打撃を受けたのだ。「勝って兎の緒を締めよ」という、この上は刈り取りを急ぎ、折角実ったものをむだなく良質米で収納してこそ真の勝利を手にする時と信ずる。しかし、中にはこうした努力も空しくかなりの減収が予想されるところも相当あると思われまます。平年作に比べて三割以上の減収が見込まれる耕地は、部落の共済連絡員(評価員)を通じて次の期日まで被害申告書を提出し、損害評価

を受けてください。申告のないところは、三割以上の減収耕地でも共済金の支払いを受けられないばかりか、減税措置も受けられませんからご注意ください。
◎第一回評価分 九月三日
(九月二十日前に刈る田)
期日経過につき即刻
◎第二回評価分 九月十四日
(九月二十八日前に刈る田)
◎第三回評価分 九月二十四日
(九月二十九日過ぎに刈る田)
注①申告書は評価員から受け取り評価員が保管する水稻細目書原簿の地名地番によって記入の上提出のこと。
②評価は申告期日二日後に行なわれますから、申告書の右端の立札を切り取って、現地に風雨で失われないよう見やすいところに立ててください。
農業共済係

九月の気象予報

△中旬概況
概して晴天の日が多く、前半は周期的、後半はやや安定した天気が期待できそうです。気温はやや高目、降水量は並か少な目、日照は多いでしょう。

△下旬概況
旬を通じて天気の変化が早くなり一時くすつく時期があります。気温は並ですが後半は一時低目の日があり、降水量は並かやや多目日照は並かやや少な目でしょう。

(15日~21日)老人の福祉週間
おとしよりにおたよりを
(ことしのスローガン)



としよりの日 (9月15日)

老後の生活が明るく、豊かなものであることは、としよりだけでなく、すべての人の真実の願いであり、老人の福祉は、単に「としより」のためのものばかりでなくすべての人に共通した問題です。老人福祉法によつて、九月十五日が「老人の日」と定められ、この日から二十一日までは老人福祉週間とされました。

町でも老令人口は年々増加しているが老人も若い人も子どもも、みななこそつて老後の健康と福祉を確保し、これをたかめるために協力し、平和な家庭、明るい社会をつくりましょう。

また、ことしのスローガンは、「おとしよりにおたよりを」です。老後ほともすれば孤独になり、淋しいものですが、町民ひとりひとりが「おたよりに」を出すごとによつて、老人をなぐさめると同時に、老人問題に、少しでも関心を持とうではありませんか。

七十五才

以上に記念菓

県では「老人の日」を記念して県内に住む七十五才以上の老人に對して、昨年から敬老品を贈つておられます。

ことしも、この県の計画にもとずいて、町の社会係で準備中ですが、その内容は次の通りです。

一対象者(敬老品の贈与を受けることのできる者)

①昭和三十八年九月十五日現在町の住民であること(住民登録のある者)

②明治二十一年九月十五日以前に生まれた者(七十五才以上)

二敬老品の種類および種類別対象者。

①明治二十一年九月十五日以前



川西町長寿者番付

(昭和38年9月1日現在調査)

(東)		才月	(西)		才月
登坂トマ (岩瀬)	93.04	横綱	高橋フサ (学校町)	93.04	
上村子之吉 (上野)	92.07	大関	渡貫徳松 (新野町)	92.00	
柄沢サト (神立)	91.07	関脇	長谷川常蔵 (赤谷)	91.00	
根津徳蔵 (原田)	90.11	小結	田口ヨ子 (木落)	90.11	
入沢倉蔵 (上野)	90.05	前頭	柄沢幸作 (神立)	90.05	
高橋ナツ (神社町)	90.01	"	星名ソノ (上野)	89.10	
小海磯吉 (小根岸)	89.07	"	関口ロク (中央町)	89.04	
丸山ツヤ (新野町)	89.01	"	佐藤市蔵 (山中)	89.00	
高橋モト (高倉)	88.11	"	大井リヨ (中央町)	88.07	
太田ヒロ (田中)	88.07	"	星名ユウ (下新野)	88.07	
毒多善吉 (四郎兼)	88.03	"	南雲スミ (中仙田)	87.08	
池竹サキ (原田)	87.07	"	高橋子ン (高倉)	87.06	
大井力子 (寺尾)	87.06	"	高橋ハル (赤谷)	87.06	
樋口イ子 (下新野)	87.04	"	滋野涙吉 (野口)	87.02	
丸止次郎吉 (霜条)	86.10	"	押木トメ (山戸)	86.08	
小川キミ (赤谷)	86.05	"	根津久蔵 (原田)	86.04	
斎藤順太郎 (京善寺)	86.02	"	相崎マサ (神立)	86.01	
大平リト (原田)	85.08	十両	高橋又七 (赤谷)	85.05	
田畑熊蔵 (元町)	85.05	"	江口コン (小白倉)	85.04	
村越菊蔵 (野口)	85.03	"	小幡トラ (木落)	85.02	
高橋トノ (赤谷)	85.02	"	田中庫蔵 (小白倉)	85.01	
小海サキ (小根岸)	85.00	"			

に生まれた者全員に對しては、百円程度の記念菓に知事のお祝いのことは

②明治五年九月二十二日から明治六年九月二十一日までの間に生まれた者(九十才)に對しては、千円程度の記念品と知事の褒状

③文久二年九月二十一日から文久三年九月二十日までの間に生まれた者(百才)に對しては、三千円程度の記念品と褒状

四名に千円

相当の記念品

町の明治二十一年九月十五日以前に生まれた者は三百八十名で、昨年より十三名多いこれらの人たには記念菓を贈ります。

またこんど九十才に達つて記念品と褒状の対象となるのは次の四名の方です。

田口ヨ子(木落) 入沢倉蔵(上野) 柄沢幸作(神立) 高橋ナツ(神社町)

記念菓、記念品等はいずれも民生委員を通じて「老人の福祉週間」中に各家庭におくばりする予定です。

以上は県が行う敬老行事ですが、先日(五日)千手地区の敬老会も開かれ二十三日は橘地区の敬老会も計画されているようです(上野・仙田地区は五月に実施済)

おとしより自身も、最近はおなご意欲的で、三十五年に「ときわ会」(上野)が誕生したので皮

切りに、各地に老人クラブが組織され余生に明るく取り組んでいるのはよることばしいことです。

老人福祉法で健康診断を実施

八月一日から施行となつた老人福祉法に定められた具体的な福祉の施策として、健康診断の実施、老人家庭奉仕員による世話、老人クラブなどの事業に援助等があります。

これら当面の老人問題を所管の金山課長から語っていただきました。

金山課長 健康診断を、まっすぐ進んでこられた老人の、静かなる余

生を、明るく見守つてやり、あなたの手をさしのべてあげる「老人福祉法」が、八月一日をもつて施行になつたことは、この面の保障制度がおくられておつた日本としては、お目出たいことだ。

「家」というものの変革によつて、老人が、とかく、うら淋しさを感じている現在、十分とはいえないまでも、多少心強さを感じられると思うが、当局者も、ただ単なる手つづぎのことなど面倒にせず、十分あなたの手が届くよう考慮すべきだ。老人クラブの援助など、老人の実態に即して、補助基準などもと低くすべきだ町としても、この主旨をそつて

実施してゆきたいと思う。

……社会を明るくする運動……

みんなの手で住みよい町に

すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、進んで力をあわせ、犯罪のない明るい住みよい社会をきずこうと毎年実施されている「社会を明るくする運動」も迎えて本年は十三回目となりました。

しかしながら県下の犯罪は増加傾向の一途をたどり、特に非行少年増加、悪質化が目立ち、非行少年の低下もきわだっており、関係者や住民の心痛とするところでありますが、これら非行少年や犯罪者の更生に、犯罪防止にたくさんの関係者が日夜努力を続けております。

更生保護

婦人会が誕生

川西町では七名の保護司が法務大臣の委嘱を受け、町民の福祉のため明るい町づくりのため働いていることにはすでにご承知のとおりであります。この保護司に協力し母親の立場から母性愛を持って犯罪防止に努め非行少年擁護の目的で更生保護婦人会（旧オパール婦人会）が発足し、当町で十一名の会員が誕生しました。

しかしこれら保護司や婦人会の活動もさることながら国民ひとりひとりの暖かい思いやりが、援助の手が必要なことは申すまでもありません。明るい町づくりのためひとりの脱落者もない健全な川西町にするため、町民それぞれの立

場における深い理解と愛の手を願ってやみません。

愛の協力封筒

募金に協力を

これら犯罪防止と対策のため、犯罪予防活動、保護観察活動等の資金として、例年実施してまいりました「愛の協力封筒募金」を本年もお願いすることになりました。近日中に嘱託員より募金封筒の配

財務事務所から

「延滞金」が改正されました

一般にお金の貸借が発生いたしますと利息が伴います。税金についても同様、納期限までに納入がないと利息に対応するものがつきまします。（縁のない方が多いですが）

しかしながら地方税（町税・県税を賦課、徴収するための法律）上では利息とは言わず「延滞金」という名称です。ほとんどの納税者が納期限内に納入されており、現在では、「延滞金」を納めなければならぬ人はほんの少々です。この「延滞金」が税法の改正により、三十八年十月一日から日歩四銭になります。（但し督促状発布の日とも十二日目に納付の日まで日歩四銭、督促状発布の前日は日歩二銭）税の納入は国民の大切な義務であることは十分ご承知の

布を行ないますので一口二十円以上の寄与を賜わりたく、趣旨と警察のうえ応分の協力をお願いいたします。

（社会係）

太田さんに表彰状

中央町太田長栄さんが昭和三十八年度新潟県保護司大会において新潟県保護司連盟会長より表彰状を受けた。太田さんは保護司として多年の勤続をなし、犯罪予防に保護司会活動に貢献し、地域社会浄化のため努力された功績が認められたものである。

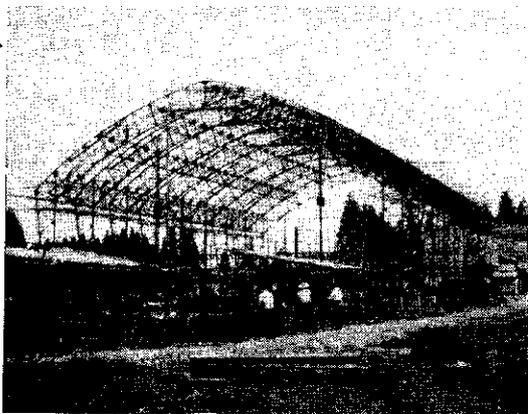
税務署から

台風と税金

ことしも台風シーズンにはいろいろの備えははかされていることですが、不幸にして災害を受けたかたには税務署としても種々の救済方法を講じたいと考えております。

次のことに該当する方は国税通則法をはじめ災害減免法、所得税法の規定によつて税の減免、徴収の猶予等を受けられるよう、被災後なるべく早く税務署または役場税務課に相談してください。

- 一、災害を受けたときに
 - ・ 国税に未納のある人
 - ・ 所得税の予定納税額のある人
 - ・ 給与について源泉徴収をうけている人
 - 二、相続税、贈与税の延納中の人に相続税の申告前に相続した財産に被害のあった人。
 - 三、今年贈与をうけた財産に被害のあった人
 - 四、事業用財産に被害のあった人
- ・ 時間を守りましょう
- ▲集会は五分前出席を習慣づけ、始めと終わりの時刻を厳守しましょう。
- ▲訪問は相手のめいわくにならない時刻をえらびむだ話せずに早く帰るようによしまし。



川西中屋体建築現場

総工事費 3740 万円のうち、本年は 3000 万円の工事費でメタージュを含む運動場と渡り廊下の建築が進められている。かまぼこ型のこの体育館が、町の学校体育のセンターとしてその偉容をはかる日も近い。

昭和38年産米政府売渡価格

(うるち玄米裸60kg当たり)

期限等級	9月30日まで	10月10日まで	10月21日まで	10月22日以降
1	5,430円	5,350円	5,270円	5,190円
2	5,350円	5,270円	5,190円	5,110円
3	5,270円	5,190円	5,110円	5,030円
4	5,190円	5,110円	5,030円	4,950円
5	4,990円	4,910円	4,830円	4,750円

気づかれたイモチ病の多発もいっせい共同防除等農家の皆さんのご努力により何とか平年作は確保できそうです。八月末で切り残された米の予約申込み数量も六万俵に迫り、年倉庫はふくれあがっています。

米価も一五〇キログラム当たり昨年より、〇二七円上がり、別表のようになりました。あとは予約をうわわり良いお米がどしどし出荷されるよう期待しています。

諸加算額
俵代(複式)一三三〇円・酒米加算二五〇円・もち米加算(水稻)五二五円(陸稻)二二五円

如意庵のボン字碑

仁田部落の如意庵の名は、悲しくまた信心深い物語りといつしよに、昔から大勢の人たちに知られて来た。

しかし、裏山に橋中学が建てられたり、めずらしいコブのあるケヤキも切られてしまつて、昔の話をなつかしく想い起す風情がほとんど失われてしまつた。

時代というものは、このようにして氣のつかぬうちに新しく切り替へられていくものであるうけれども、この境内を横切つて登校する中学生の胸の中に、住みなれた江戸をはなれてここへ旅をして来たお菊さんの氣持は、いつたどのようになつてゐるであろう。

この如意庵の境内に、大きなボン(葺)字碑がある。文化元年(一八〇四)に書かれた「節黒城蹟記」によると、

「上野ヨリ北十五町バカリニ仁田村アリ、此地三石碑アリテ、高サ三尺バカリ上ニキリク字等ノ三字アリ、是三尊ノ種子ナリ、下二年時ヲツナゲ即チ正平十二年トアリ；」

「此石碑ヲ立ツルトコロスナハチ当城ノ丑寅ニアタレバ、正シク鬼門ノ守護ト見ヘタリ；」など記され、上野の節黒城の鬼門除けであると説明されている。また仁田村のようすを幕府へ報告したものの(地誌書上帳)にも、「古来ノ伝説ニハ、節黒城ノ東北ニ当リテ、当城守護ノ為ニ建テラレ候事ト承リ申候」とあつて、昔から、節黒城のつながりと考えて

ふるさとをさぐる⑩

来ていたようだ。

このようなボン字碑は魚沼地方に例が多く、いずれも六百年くらい前の南北朝時代の年号がはいつていて当時の官軍と賊軍の移り変りを知る貴重な資料となつていた。川西町には、如意庵の他にも、千手友重(正平二年の年号)坪山(正平八年)

があり、三領にも年号不明の同種のものと思われるものがある。しかし、このような石碑が、果して鬼門除けであるのか供養塔であるのか、墓であるのか、また記念碑的なものであつたのか明らかになつてゐない。

ところが、本年五月に十日町市大黒沢でおこなわれた調査によつて、これらの石碑は恐らく墓であるといふことが推測され、字界の話題を呼んでゐる。

大黒沢のボン字碑は、坪山のものと同じ正平八年で、しかもたつた一日ちがいの日附が入つてゐる。そして、その下から人骨二体分を入れたつば二箇が掘えられ、火葬であつたことも確認された。

友重、坪山部落の碑も、如意庵のものも、恐らく最初からその場所にあつたものでなく、必ず移されてゐたところに置かれたと考へられるから、原形についてとかくいうことは許されないが、恐らく同様と見るのが適當であろう。

節黒城の鬼門除けという伝説は昔ながらのゆかりあるものだらうけれども、異つた観点から、貴重な資料保存をはかつていくのも大切なことではないかと思ふ。

盛況だった

仮装大会(上野)

四十三組が出席

恒例の上野諏訪神社祭礼は地元商店会が主催してひらいた仮装大会(二十六日夜)で頂点に達つたようだ。それをうらがきするよろに、当夜の人出は約三千人、広いはずの道路もうすまつてしまひ仮装の方も四十三組が参加するといふ予想外の出来、本当にお祭りさわぎを地でゆく盛況をみせた。大会の成績は次のとおり

- 四位 上野内山工場従業員七十四名
 - 四位 西部の勇士
 - 五位 新町若山俊雄ほか二名
 - 五位 無法松の一生
 - 五位 千手金子佳子ほか二名
 - 六位 野きつね三三、七位 桃太郎、八位 神田祭テ三隣り、九位 世のおとな族よ子どもを交通事故から守ろう、十位 浦島太郎
 - 川西町商工会長賞 宝船
 - 三領高橋正市ほか七名
 - 大会賞一席 桃太郎一行
 - 上野星名秀利ほか三名
 - 大会賞二席 カルカヤ、同三席 うさぎとかめ
 - アイデア賞 婦人消防団
 - 新町若山ハルエほか九名
 - 努力賞 豊年宝船
 - 千手丸山 ほか一名
- (写真は仮装大会風景)



戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- 喜多恵美子 保 長女 東善寺
- 西万 君雄 清 長男 中島町
- 清水 幸子 良家二女 上野
- 古沢 実 英保長男 上野
- 木村 尚子 幸治長女 室島
- 増田 一弘 新一長男 室島
- 押木美代子 耕二二女 中仙田
- 片桐 武俊 繁行長男 小白倉
- 江口 茂一 二男 小白倉
- 片桐 豊実 三男 小白倉
- 片桐 司信 二長男 小白倉
- 片桐 広美 昌好二女 大白倉
- 川崎 功 清治二男 桐山
- 川崎 ちよ子 一郎三女 越ヶ沢
- 野上 騎弘 健次郎長男 上野
- 高松 恒道 道生長男 中屋敷

昇天—御めい福を祈る

- 高橋 勝治 上町 五五
- 星名 静 学校町 四六
- 平野 スイ 山野田 五一
- 登坂留三郎 岩瀬 八九
- 中条 久野 大倉 一二

たかさご—御円満に

- 新郎 高橋 満雄 室島
- 新婦 岡部 俊子 神奈川県から
- 新郎 長部 三郎 中屋敷
- 新婦 駒林 春代 長岡から
- 新郎 青木 一栄 田戸
- 新婦 佐藤タミ子 藤沢から
- 新郎 高橋巳代治 高倉
- 新婦 齋木美智子 高倉から

かわにし 俳壇



- 小白倉 江口 凡石
- 糸瓜ゆれ止まず我庵すにて秋
- 小白倉 田中 緑風
- 隧道を抜ければまふし夏の雲
- 大倉 金子 洋石
- 背なの子の眠りて重し遠火花
- 小白倉 田中 正信
- 工事場の裸電灯夏の虫
- 小白倉 田中 田鶴子
- 大西瓜切る子供らに囲まれて
- 星名新田 渡辺 チャウ
- 朝露に濡れし株にはぎの花
- 描写の状況から、さみしいとかなまめかしくとかの主観が汲みとれる時はそういう言葉を使わせて感じとらせるような作り方がよい。

編集後記

涼風の身にしむ候になりました。心配された病害虫も防除よろしきを得豊かに波うつ黄金の稲穂に農家は収穫の喜びにあふれてゐます。

水苗代から畑苗代そして保温折衷へ、田の草が除草剤へと日ましく進歩する稲作、この二三年の話題は直播栽培にあり各地で好結果が報告されてゐます。ハサ木も不用、手刈りが機械になり十アールの労働力五人という新しい米づくりに遠い夢ではなくな夢が進歩を生むことを目のあたりにみる昨今の農村です。

栗のいががのぞいています柿の実もふくらんできました。つまりの秋を味わいにお出かけ下さい。